

令和4年度北九州港（響灘東地区）岸壁（-10m）築造工事のお知らせ

次のとおり、北九州港（響灘東地区）岸壁築造工事を実施しておりますので、付近を航行する船舶は十分な注意と工事へのご協力をお願い致します。

1. 工事期間及び工事時間

地区名	種別	作業船種	予定期間														作業時間	備考
			R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	4	5		
響灘東地区	共通工	ガット船 油圧式スパット台船 クレーン付き台船 起重機船	[作業期間の棒グラフ表示]														日の出 ～ 日没	
	本体工																	
	海上地盤改良工																	
	撤去工																	
	基礎工																	
	裏埋工																	
上部工																		

※ 平日の作業を原則としておりますが、作業の進捗状況により休日の作業が発生する場合があります。
※ 期間は変更の可能性があります。

2. 工事場所

北九州市若松区響町地先（図-1参照）

3. 工事概要

- 3-1 共通工
海上工事中（本体工～基礎工）は、汚濁防止膜を設置・管理し、工事完了後撤去します。
- 3-2 本体工
1) 鋼管矢板の打設に先立ち、打設箇所の先行掘削を行い、砂に置き換えます。施工方法は、油圧式スパット台船及びクローラクレーンを使用した工法を想定しています。
2) 起重機船により、鋼管矢板を打設します。
- 3-3 海上地盤改良工
1) ガット船により、置換材（捨石）を投入します。
2) 置換材は、図-1に示す仮置場所より採取することを想定しております。
- 3-4 撤去工
背後埋戻しに伴い、法面の防砂シートを撤去します。施工方法は、陸上機械を使用した工法を想定しています。
- 3-5 基礎工
1) 鋼管矢板を打設した前面部に、ガット船を使用し、腹付材（捨石）を投入します。
2) 腹付材は、図-1に示す仮置場所より採取することを想定しております。
- 3-6 裏埋工
1) 鋼管矢板を打設した背後部を埋戻します。
2) 埋戻材は、図-1に示す仮置場所より採取し、運搬投入します。
3) 既設護岸の背後に防砂シートを敷設します。施工方法は、海上からのクレーン付台船を使用した工法を想定しています。
- 3-7 上部工
上部コンクリートの打設を陸上施工にて行います。

4. 工事の安全対策等

- 作業船には、図-2に示す海上衝突予防法に定められた形象物を掲げます。
- 工事中は、図-3に示す警戒の標識（緑、黄、緑の吹き流し）を掲げた警戒船を作業船の周辺に1隻配備します。
- 工事を行わないときは、図-1に示す作業船停泊場所①、②に作業船が停泊待機します。

■ 航行船舶へのお願い

- 本工事区域を航行する船舶は、十分注意するとともに、減速等のご協力をお願い致します。
- 本工事に伴う工事実施状況の確認は、下記「ひびき支援業務室」までお願いします。
- 付近を航行するVHF装備船舶は、常時VHF16chを聴取して下さい。
- 工事期間中における、工事区域付近の錨泊はしないようご協力をお願い致します。

問い合わせ先：ひびき支援業務室（(公社)西部海難防止協会）
TEL：093-863-9013 FAX：093-863-9014
HP：<http://seikaibo.ecweb.jp/hibiki/>

◇工事施工における問い合わせ先◇
国土交通省 九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所
沿岸防災対策室 TEL：093-321-4634
HP：<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kitakyusyu/>

図-1. 工事区域

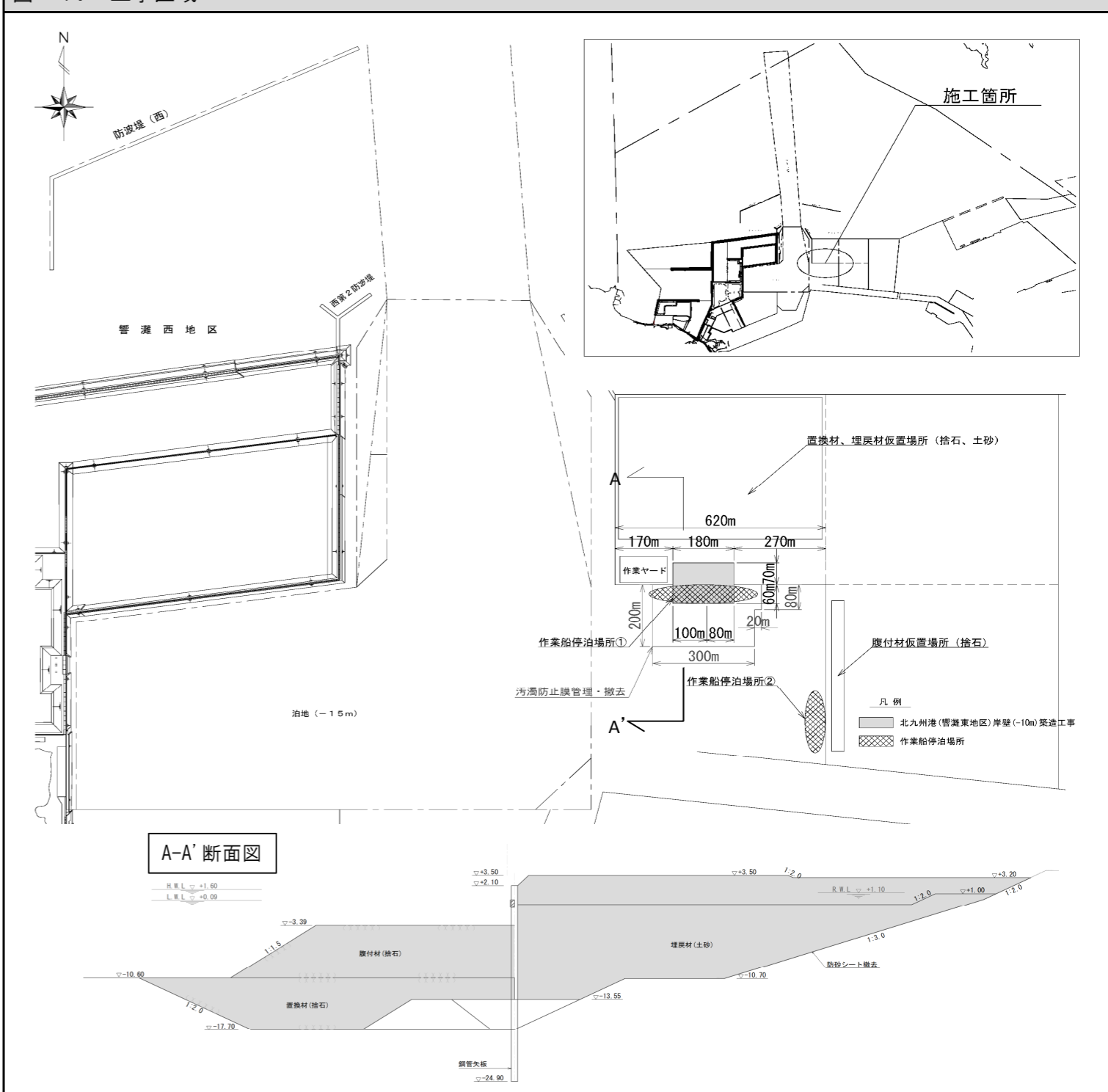


図-2. 停泊を伴う作業船の灯火及び形象物

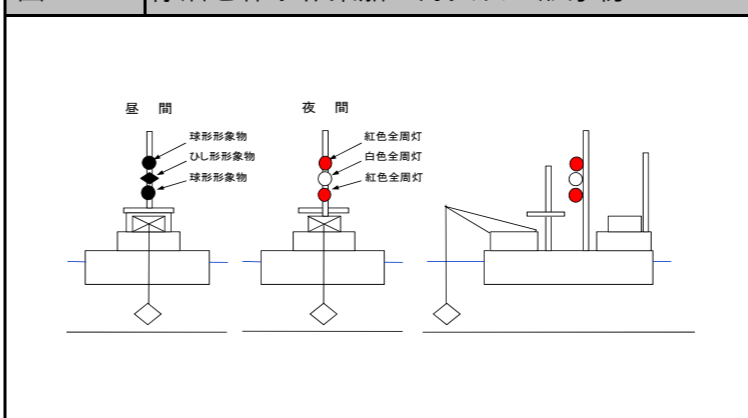


図-3. 警戒船の標識

